

1 学校教育目標

- やさしい子
- かしこい子
- たくましい子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	<ul style="list-style-type: none"> ◎やる気いっぱい やさしさいっぱい やりとりいっぱい 中川東小 ○子供たちにとって大好きな学校、未来に亘って居場所となる学校 ○教師にとってやりがいをもって教育に邁進する学校 ○保護者や地域の方々にとって誇りに思う学校
○児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ◎やさしく かしこく たくましい子 ○誰とでも仲良く分け隔てなく接する子 ○よく考え、すすんで学ぶ子 ○心身を鍛え、様々なことに挑戦する子
○教師像	<ul style="list-style-type: none"> ◎子供たちを愛し、子供たちを伸ばし、教育への情熱を燃やす教師 ○常に子供の心の傍にいて、一人一人の子供のよさや可能性を最大限に伸ばす教師 ○「教師は授業が命」と授業づくりに熱心に取り組む教師 ○豊かな感性としなやかな対応力をもち、人間味にあふれた教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

[学校の現状]

○児童について

素直で優しい児童が多い。人とかかわる活動を楽しんで行うことができる。また、与えられた課題には一生懸命に取り組む姿が多く見られる。さらに、自ら課題を見つけ解決していく力を育てていきたい。区学力調査からは、基礎的基本的な学習内容の定着が不十分であることが分かる。活用力をつけていくことも課題である。学力向上の取り組みに引き続き力を入れていく。

○教師について

新規採用教員や教職経験の浅い教員（6年未満）が教員の約5割である。若手を育てるベテラン教員と共に「チーム中川東」として、児童の視点を大切にした教育活動を推進している。休み時間は全員が外に出て児童と一緒に遊ぶ姿が見られ、常に児童と共にある教師集団である。「教師は授業が命」を合言葉に授業力向上に全力で努めている。

○保護者・地域について

地域の温かさに包まれている学校である。「PTA」「開かれた学校づくり協議会」を中心とした保護者・地域の方々が積極的に教育活動に協力している。「あだち放課後子ども教室事業」の「きらりクラブ」の活動も定着している。今後も保護者・地域の方々との連携を深め、共に「地域に育つ子供たち」を育てていく。

[前年度の成果と課題]

○教員の授業力向上を通して、児童の学力向上を図る。

校内研究や小中連携における研究授業・管理職による授業観察・教科指導専門員による訪問指導等を通して、常に授業をオープンにして授業研究に努めることで授業力向上が図られてきた。また、パワーアップタイム（朝学習）・花丸教室（放課後補習教室）・そだち指導等個に応じた指導、自主学習のモデル提示等家庭学習の徹底を図ることで学力向上につなげることができ成果が表れてきた。区学力調査の目標通過率は78.4%であった。今後は基礎基本の定着はもちろんのこと、「主体的・対話的で深い学び」

に向けた授業改善に努める。活用力の育成にも力を入れて指導を行う。

○児童が安心して学べる教育環境を整える。

「一人一人を大切に教育」に力を注いできた。人とかかわる活動にも力を入れ、縦割り班活動を中心に据えた児童主体の活動を計画・実施させてきた。定期的にいじめ防止対策委員会を開き、いじめの早期発見・早期解決に努めた。いじめ解決率 100%である。今後は HyperQ-U 検査を活用するなど、より安定した学年・学級経営を目指し、温かく高め合える集団づくりを展開していく。40 周年を迎える学校が児童の居場所となるように教育活動を力強く推進する。校庭外周の美化・花壇の整備・空き教室の活用等、創立 40 周年に向けた教育環境のさらなる充実を図っていく。

○保護者や地域と共に児童を育む学校づくりを進める。

保護者からの日常の声や学校評価アンケートの結果を、よりよい学校づくりに生かしてきた。内容や呼びかけの工夫をすることで、前々年度の課題であった授業公開・保護者会への参加率を伸ばすことができた。保護者や地域とのコミュニケーションが深まり、心の通った連携が築かれつつあることを手ごたえとして感じている。創立 40 周年に向けた校内組織も始動、地域では「創立 40 周年準備委員会」も立ち上がり、創立 40 周年に向けた士気の高揚が見られる。忙しく働いている家庭が多い中、「共に育てていく」という土壌を耕し、10 年に一度の周年行事を保護者・地域と心をついに祝い合う機会としたい。

4 重点的な取組事項

番号	内容	実施期間				
		29	30	31	32	33
1	教員の授業力向上を通して、児童の学力向上を図る。	○	○	○	○	○
2	児童が安心して学べる教育環境を整える。	○	○	○	○	○
3	保護者や地域と共に児童を育む学校づくりを進める。	○	○	○	○	○

5 平成 31 年度の重点目標

重点的な取組事項－ 1	教員の授業力向上を通して、児童の学力向上を図る。	
A 今年度の成果目標	平成 31 年度区学力調査目標通過率と年度末の到達目標	
児童の学力向上を図る。	目標通過率 80%以上を目指す。 2 月実施の定着度確認テストで目標値を通過する対象児童 100%	
B 前年度の取組み内容		
項目	具体的な方策	
校内研究による教員の授業力向上	楽しく挑戦したくなる授業の創造・「分かる授業」の追究 ・毎週 100 文字作文による書く力の向上（全国学力調査への対応） ・読書環境の充実による読む力の向上（本に手を伸ばす子の育成）	
小中連携による教員の授業力向上	第十二中・大谷田小・長門小との連携による授業力・専門性向上 ・小中の系統性を考えた授業スタイルの確立 ・自主学習（家庭学習）の継続性の検討	
放課後補習教室による個に応じた指導	花丸教室・そだち指導・ノート指導等の徹底 ・担任・副担任・講師等全校体制による学力の底上げ ・学力ポートフォリオによる指導内容の精選	
家庭学習の徹底	「家庭学習キャンペーン」の実施・自主学習の定着 ・提出率（家庭学習カード・宿題・自主学習）を各学級で確認 ・自主学習のモデル（教師用・児童用）を作成・掲示による啓発	

<p>C 前年度の成果と課題</p> <p>児童の学力向上は教員の授業力向上・個に応じた指導の充実・家庭学習の徹底のトライアングルによって成果を上げるとの考えで取り組んできた。学力向上に直結する授業力向上には、特に力を入れてきた。日々の授業・校内研究・小中連携・教科指導専門員による訪問指導等、教員が授業研究に励むことで以下の成果を上げた。</p> <p>〈成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区学力調査 目標通過率 78.4%達成 前年度比 0.5%△ 前々年度比 1.6%△ ・校内研究の取り組みで本に手を伸ばす児童が増加 関連図書を読み広げる姿が見られるようになった。「図書館調べるコンクール」にも応募 ・毎週 100 文字作文に取り組むことで 5 分間に書ける文字数が伸びた。(書く力の伸び・考えの形成) ・多くの人の前で原稿なしで話せる児童が増えた。(朝会・児童集会・発表会等) ・自分の考えをもつ児童が増えた。話し合い・交流を通し、自分の考えを深める姿も見られる。 ・花丸教室・そだち指導等個に応じた指導の充実で、学力の底上げが図れた。 ・家庭学習の徹底に努めた。家庭学習カード提出率 90%・宿題提出率 91%・自主学習提出率 87% ・自主学習のモデルを保護者向け・教員向けに作成・周知することで、意識改革・向上が見られた。 <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より一層基礎基本の定着に力を入れると共に、活用力の育成にも力を入れていく。 ・学力ポートフォリオを活用した補習教室の指導内容精選と指導体制強化 ・新学習指導要領の理念「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善
--

<p>D 今年度の目標実現に向けた取り組み</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>達成基準</th> <th>具体的な方策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>別紙 「平成 31 年度 学力向上アクションプラン」参照</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	達成基準	具体的な方策	別紙 「平成 31 年度 学力向上アクションプラン」参照								
項目	達成基準	具体的な方策										
別紙 「平成 31 年度 学力向上アクションプラン」参照												

重点的な取組事項－2	児童が安心して学べる教育環境を整える。
-------------------	---------------------

A 今年度の成果目標	達成基準
児童にとって安全・安心な学校生活を確立する。	学校評価アンケート「安全・安心に関する項目」：肯定的回答 90%以上

B 目標実現に向けた取り組み		
項目	達成基準	具体的な方策
いじめのない学校生活の充実	いじめ解決率 100%	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの起こらない学年・学級経営 ・HyperQ-U 検査の活用 ・いじめの早期発見・早期解決 ・いじめ相談箱の設置・活用 ・いじめ防止対策委員会の機能強化
子供の心を育てる 教育活動の充実	「生活指導・特別活動に関する項目」：肯定的回答 90%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・「人とかかわる活動」の意図的・組織的展開 ・気持ちのよい挨拶の徹底 ・縦割り班活動の活性化・充実 ・人権尊重教育の徹底 ・「特別の教科 道徳」授業内容の工夫
安全・安心な学校の整備	「学校施設の安全に関する項目」：肯定的回答 90%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の施設点検の徹底 ・創立 40 周年における環境美化 ・花があふれる環境づくり ・校庭外周美化・空き教室の活用等

重点的な取組事項－3	保護者や地域と共に児童を育む学校づくりを進める。	
A 今年度の成果目標	達成基準	
保護者や地域との連携を図り、創立 40 周年の教育活動を充実する。	学校評価アンケート「家庭や地域との連携に関する項目」：肯定的回答 90%以上	
B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
保護者との共育体制の確立	学校公開参観率 85%以上 保護者会出席率 75%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・授業公開・保護者会の内容刷新 ・通信・HP等による情報発信の充実 ・創立 40 周年関連行事の共有・共感
「創立 40 周年実行委員会」を中心とした周年行事の成功	「家庭や地域との連携に関する項目」：肯定的回答 90%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校の歴史」に関する地域の方の話 ・地域人材の新規発掘及び連携強化 ・「創立 40 周年記念誌」の作成発行
子供の夢を育む周辺教育施設との連携強化	「幼保小中高との連携に関する項目」： 肯定的回答 90%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園保育園との日常的交流の充実 ・小中連携の強化（自学の統一） ・足立東高との新たなる連携の模索